

Open Seminar on  
Rural Development & Cultural Landscape Conservation In Borobudur Area 1

ボロブドール地域の文化的景観保全と村づくりに関する公開セミナー 1



主催 日本建築学会近畿支部農村計画部会

共催 和歌山大学神吉ゼミ・本多平田ゼミ

協力 日本建築学会農村計画本委員会・同情報交流小委員会

〔科学研究費 基盤研究(B) 原風景ヒアリング法を用いた歴史文化遺産をとりまくバッファゾーンの景域保全計画 (代表者 神吉紀世子)〕

1991年に登録された世界遺産ボロブドール寺院においては、広大にひろがるパノラマ、すなわち、周辺の文化的景観もまた重要な意味を持っています。一方で、年々進む観光化の結果、近年、観光活動や商業開発のコントロールの必要も顕在化しつつあります。

文化的景観そのものである寺院をとりまく二十の村は、これまで、ボロブドール寺院の遺産保全と十分に関連づけて捉えられてきたわけではありません。しかしながら、目下、個々の村では、景観保全と地域の自立をめざした「むらおこし」の時代に入っています。農山村地域の景観保全と活性化を両立するための「村づくりの知恵おこし」に取り組み始めた、現地からのレポートと、その取り組みを支援する新しい農村計画のあり方についてのアイデア交換を行いたいと思います。

日時：平成 17 年 1 月 29 日 (土) January 29(Sat.), 2005, 13:30-17:00 (受付 13:00~)

13:30 主題解説 Introduction (神吉紀世子 和歌山大学)

13:40 基調講演 Keynote Speech 1 (ジャック・フリヨ ボロブドール観光ネットワーク)

14:20 基調講演 Keynote Speech 2 (フレド・T・アティヤクティ ガジヤタ大学文化遺産保全センター)

15:00-15:20 休憩 Break

15:20 調査レポート Survey Report 1 (テイイン・ファティ 和歌山大学大学院神吉研究室)

15:50 調査レポート Survey Report 2 (金子美音・高見美由貴・寶川悠一 同本多平田研究室)

16:20 - 17:00 Q&A

参加申し込み・問い合わせ先

Email : rural@archi.sys.wakayama-u.ac.jp

Fax : 073-457-8335 (和歌山大学環境システム学科事務室・『神吉宛』を明記して下さい)

**ジャック・ブリアノ氏**

ホノダール在住。自ら民宿業・観光業を営みながら、ホノダール地域の農村地域が自立できるむらおこしをめざす活動に関わる。ホノダール寺院と集落住民が元来どのような関係を持っていたか、あるいは、各集落がそれぞれどのような特徴や可能性をもつか、もっともよく知る人。

**リトナ・T・アディヤクティ氏**

ホノダール地域から最も近い国立大学がジャガ大学にあって、インドネシア各地の文化遺産・景観保存に関わる、第一人者。2003年にホノダール寺院の至近で大規模商業開発計画（廃案）が持ち上がって以降、文化的景観として同地域の研究に着手。2004年9月ホノダール・フィールド・スクールを主催。

会場：蕎原貝塚・ほの字の里（研修室 30名）

小学校跡地を活用した、研修・都市農村交流施設です。今回のセミナーテーマに鑑み、美しい農村景観と村づくりの見学も可能なこの会場を選択しました。

住所 〒597-0111 大阪府貝塚市蕎原 2114 番地

電話 0724-78-8777 <http://www.honojininosato.com/>



ほの字の里（旧小学校敷地）から眺める蕎原集落



ほの字の里の全景（写真提供：両口猛）